

2010年10月29日

気候ネットワーク東京事務所 御中

三菱電機株式会社

リビング・デジタルメディア事業本部

空調冷熱システム事業部長 宮田 由憲

「ヒートポンプ性能表示に関する再質問」の件(ご回答)

謹啓 清秋の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社社長宛にご送付いただきました標記ご質問につきまして、当該事業責任部門より以下にご回答申し上げます。

ご査収のほど、宜しく願い申し上げます。

[ご回答]

弊社はJIS規格に基づきエアコンの性能評価を実施しております。

機器の性能の優劣を決めるためには、JISに定める一定条件下において、客観的な指標で定格性能評価を行うことが不可欠でした。従って、圧縮機の回転数が変化するインバーターエアコンにおいても、圧縮機の回転数や風量を固定して測定します。

ご質問の風量操作による性能試験の有無につきましては、先回の質問書でもご回答しております通り、JIS基準の試験条件の範囲内ではありますが、過去に実施していた時期が御座いました。この風量の設定はリモコン等の特殊な操作によるものではなく、お客様の使用時の環境条件により出現する仕様です。

しかしながら、お客様の使用環境によっては、出現しにくい、また、お客様の誤解を招きかねない風量設定であったことを弊社として、道義的に課題があったと真摯に受け止めております。

風量設定による使用時のエネルギー消費性能への影響につきましては、性能評価指標のAPF(通年エネルギー消費効率)で1~2%と試算しております。

また、騒音値等の使用時の一般性能につきましても、省エネラベル表示・カタログ等記載の性能表示値を逸脱する性能は御座いません。

尚、当該製品の台数等のご質問が御座いますが、販売実績含めて過去より一切公表しておりませんので、恐縮ですがご回答は控えさせていただきます。

ご高承のとおり、JIS規格につきましては、経済産業省のご指導のもと、機器の性能の優劣だけでなく、使用実態との整合性を考えた改正の検討を始めているところであります。弊社も工業会を通じて、積極的にJIS改正に取り組んで参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬白